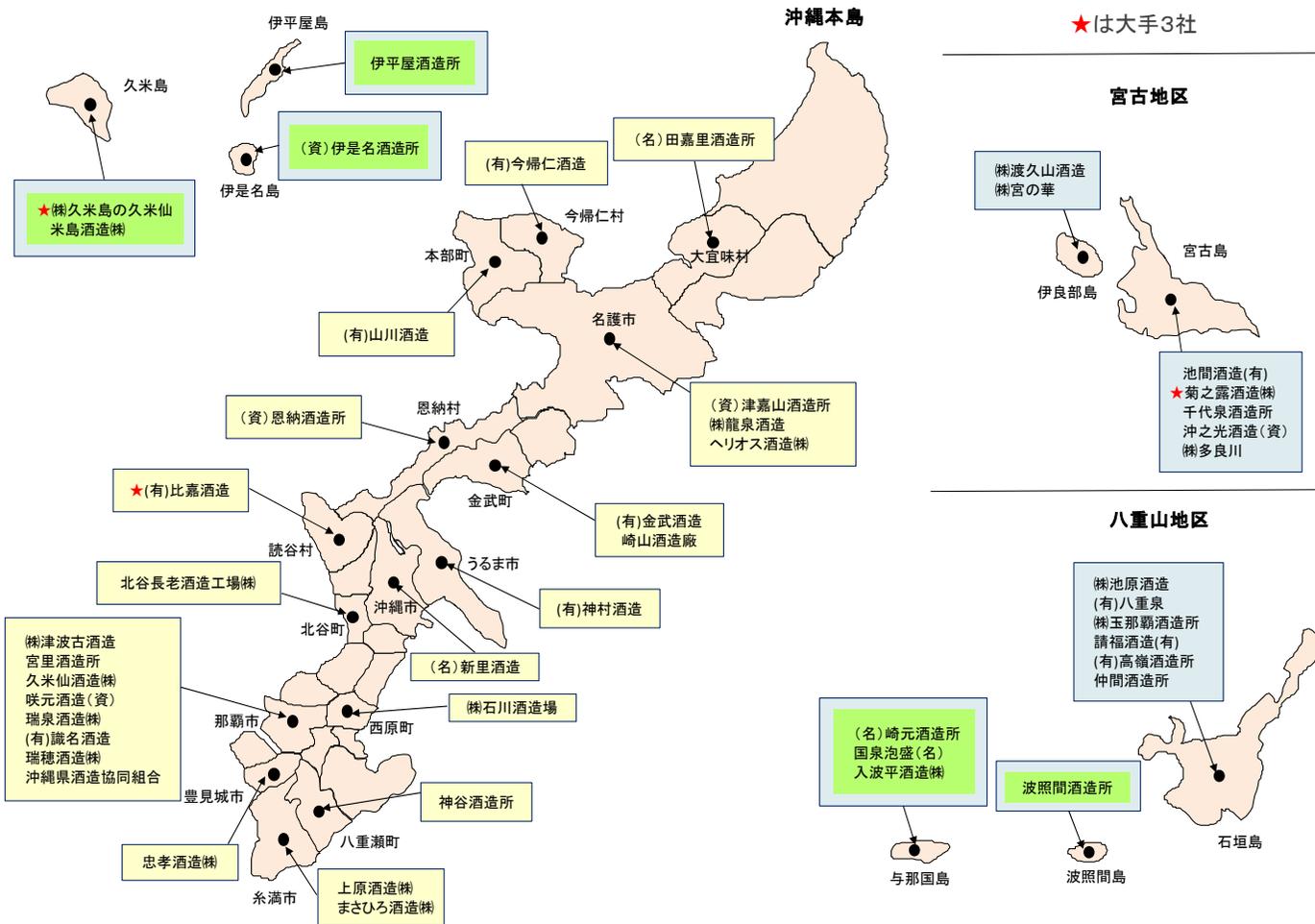


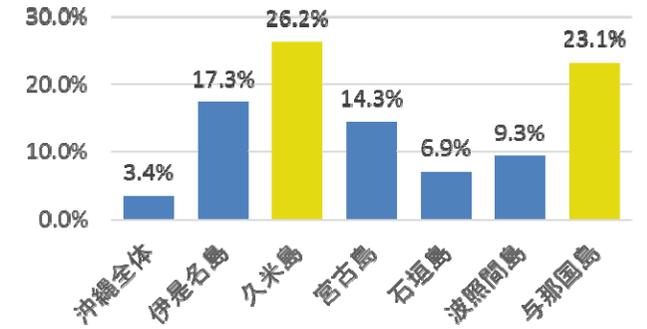
泡盛業界の現状・課題及び これまでの振興策等

内閣府沖縄振興局

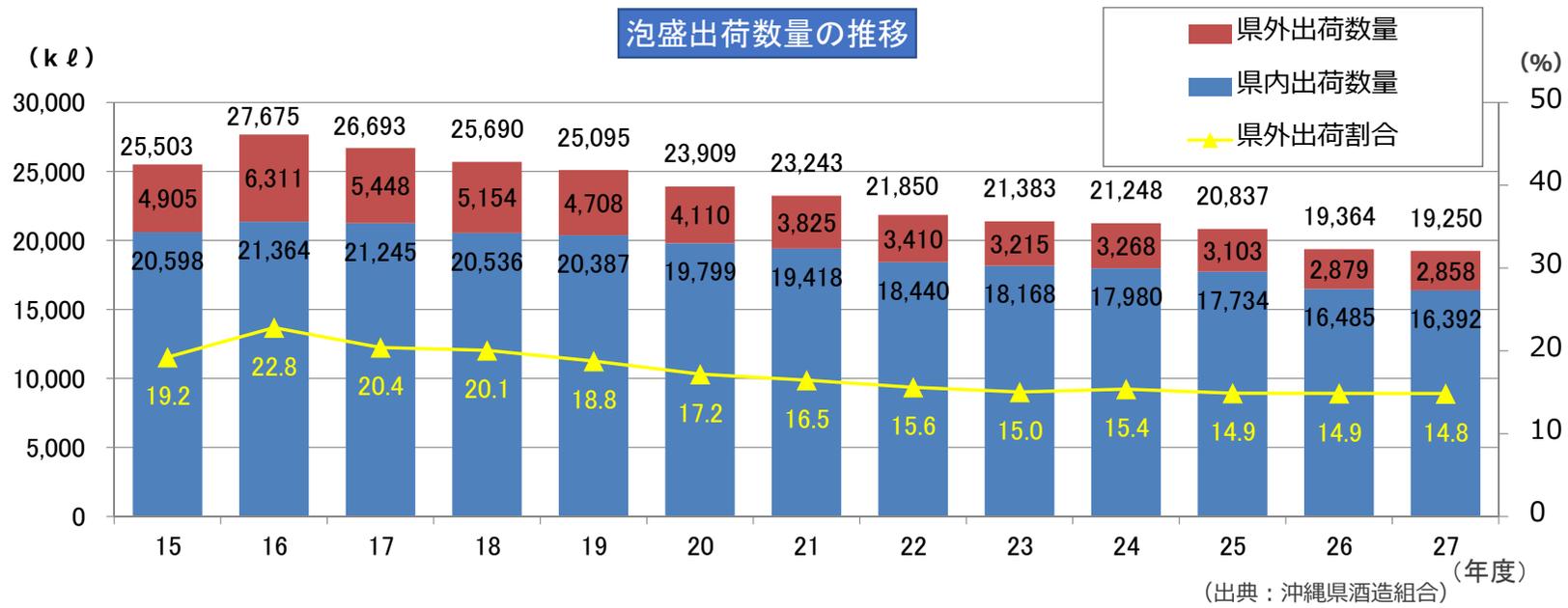
泡盛酒造所の分布状況(47酒造所)



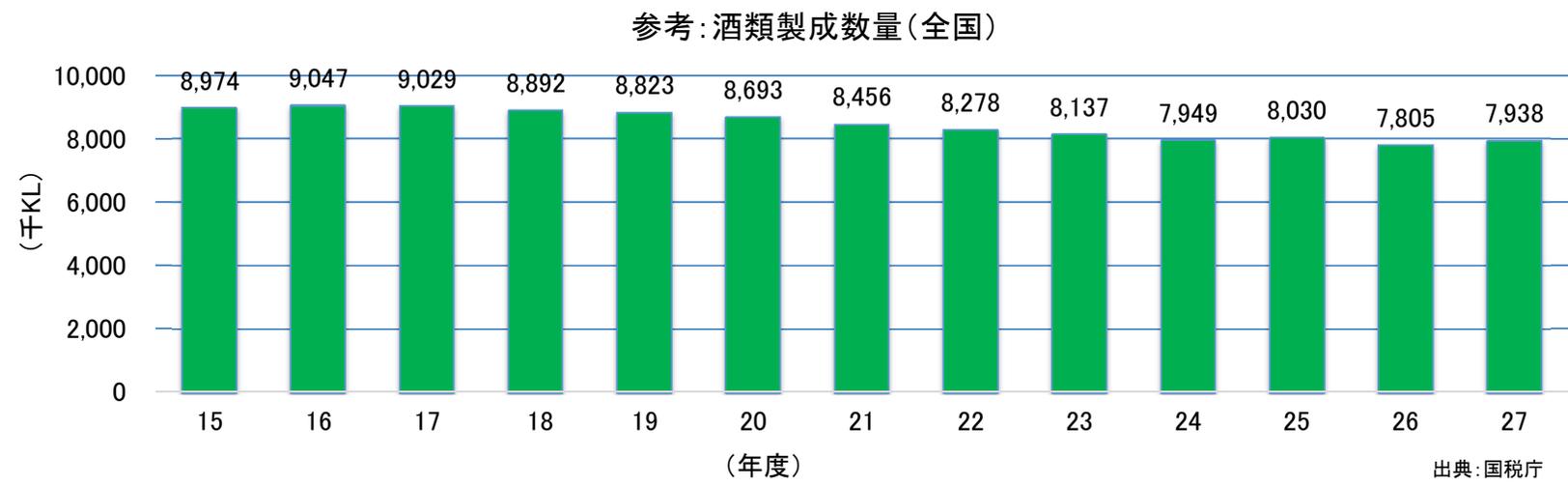
製造業就業者数に占める泡盛酒造所就業者の割合



(備考) 泡盛百科HP(沖縄県酒造組合)より作成



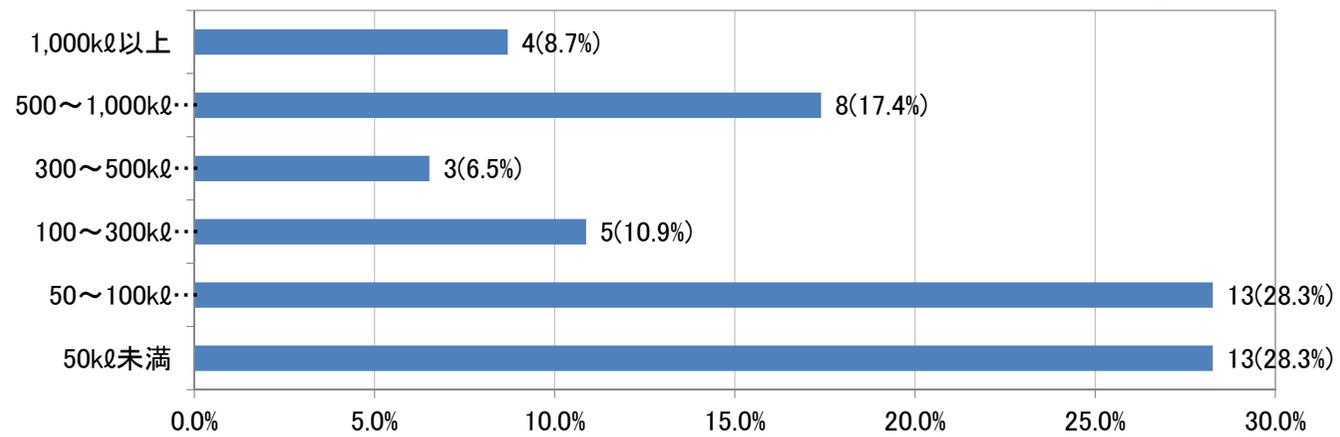
16年度⇒27年度
△30.4%

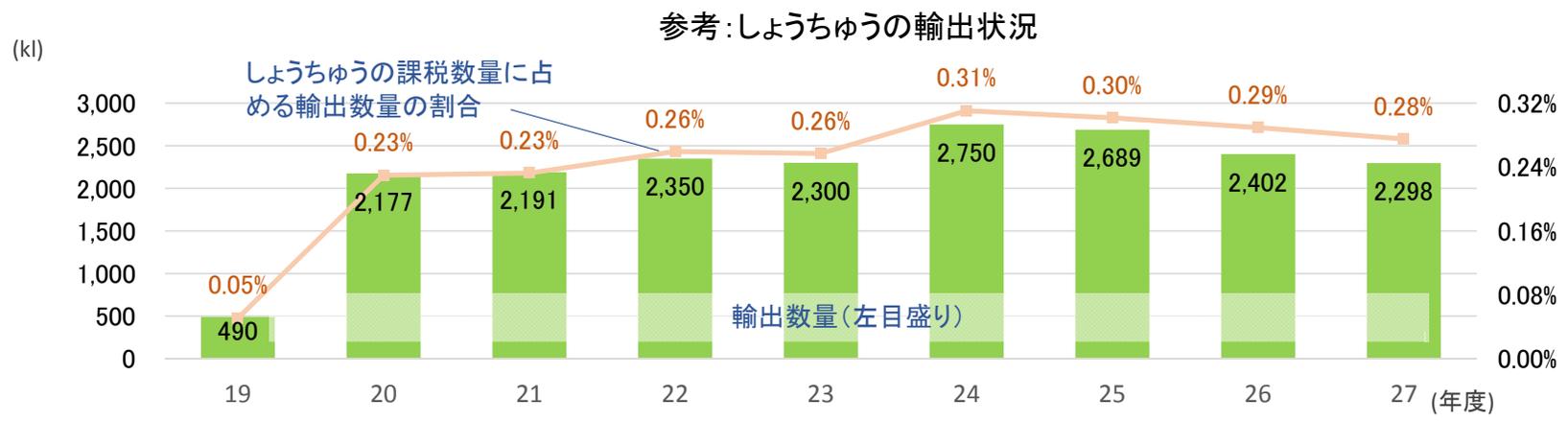
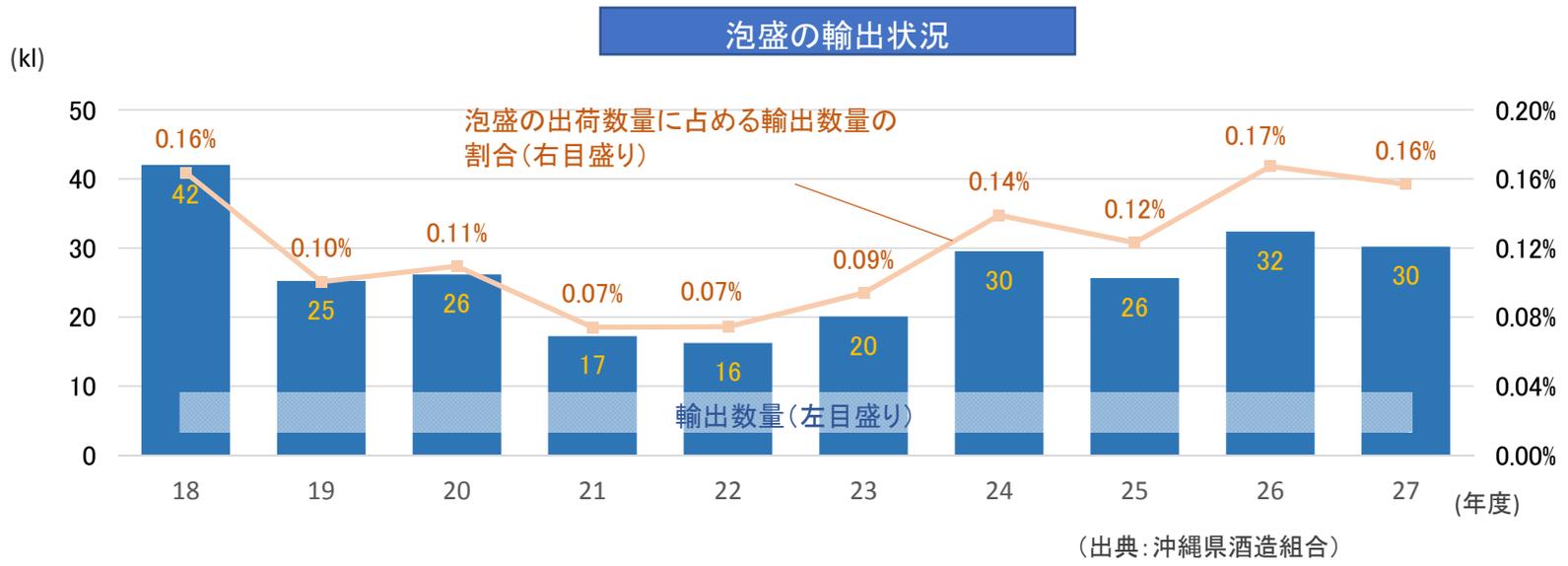


16年度⇒27年度
△12.3%

泡盛製造業の出荷数量規模別分布(平成27年度)

(社数)





※しょうちゅうの課税数量は、連続式蒸留しょうちゅう及び単式蒸留しょうちゅうの合計を使用
 ※しょうちゅうの輸出数量は、HSコード2208.90.100(しょうちゅう)を指す。
 出典: 財務省貿易統計、国税庁統計年報

泡盛業界の振興に向けた取組について

戦略目標	主な手段	取組概要
1. マーケットの拡大	(1) 認知度向上・消費拡大 (一般酒)に関するもの	<ul style="list-style-type: none"> ・琉球泡盛県外展開強化事業【交付金】(別紙1) ・マスコミパブリシティ広報【酒造組合事業】 ・泡盛の日(11/1)新聞広告【酒造組合事業】 ・泡盛の女王【酒造組合事業】 ・那覇めしグランプリ出店【酒造組合事業】
	(2) 高付加価値化・ブランド化 (古酒)に関するもの	<ul style="list-style-type: none"> ・泡盛の海外展開支援(欧米展開に向けたブランディング戦略の促進)【内閣府委託】(別紙2) ・古酒の日(9/4)ケースイベント(泡盛ミニチュア配付)【酒造組合事業】 ・沖縄の産業祭り出店対応【酒造組合事業】 ・泡盛同好会の開催【酒造組合事業】 ・MICE事業での泡盛PR【酒造組合事業】
2. 競争力強化	(1) 低コスト化に関するもの	<ul style="list-style-type: none"> ・高度化物流事業【県補助事業】(別紙3)
	(2) 人材育成に関するもの	<ul style="list-style-type: none"> ・泡盛鑑評会「品質評価会」【酒造組合事業】 ・泡盛製造技術者講習会【酒造組合事業】 ・泡盛製造技術研究会【酒造組合事業】 ・人材育成(日本酒造組合中央会)のための研修会【酒造組合事業】

泡盛に関する酒税の軽減措置

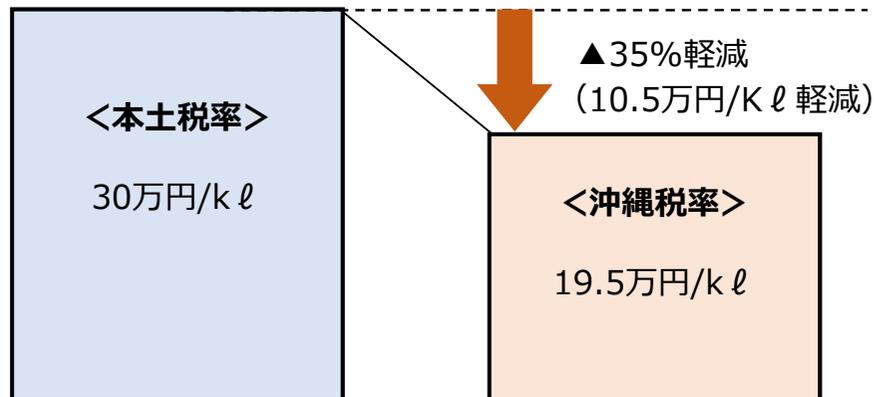
1. 概要

- ◆ 沖縄の復帰に伴う特別措置に関する法律等に基づき、特定の製造場が、所要の要件の下で出荷する泡盛について本則の35%酒税を軽減
- ◆ 適用期限：平成31年5月14日まで

2. 軽減税率

<軽減税率>本則の35%軽減

【アルコール分30度の場合】



(参考) 30度1.8ℓの場合の酒税
全国：540円
沖縄：351円(189円軽減)



※その他、単式蒸留しょうちゅう以外で所要の要件を満たす沖縄の酒類については酒税を20%軽減

泡盛の振興に向けた提言

内閣府及び沖縄県主催 泡盛ビジネスセミナー(平成29年3月4日開催)

【パネルディスカッションにおける主な提言】

- ①スマートフォン等に向けた情報発信の強化
- ②泡盛コンペティションの開催
- ③米国に設置予定のジャパン・ハウスの活用
- ④那覇空港における泡盛カウンターの開設
- ⑤香港や中国を意識した海外展開
- ⑥ハードリカーとしての販売推進



沖縄県 泡盛製造業等実態調査(平成28年3月)

【提言】

- ①泡盛業界の振興に向けた「泡盛振興協議会(仮称)の設置」
- ②泡盛業界の「経営及び取組の透明化」の推進
- ③泡盛製造業者の「企業特性」に応じた取組の推進
- ④「消費者嗜好の多様化」に対する適切かつ迅速な対応
- ⑤「若者のアルコール離れ(泡盛離れ)」に対する適切かつ迅速な対応
- ⑥「増加する観光客の取り込み」に向けた取り組みの推進
- ⑦「古酒のブランド化」の取組の推進
- ⑧「他酒類の台頭」に対する適切かつ迅速な対応

(参考) 沖縄21世紀ビジョン基本計画(抄)

平成24年5月 沖縄県

(沖縄振興計画 平成24年度～平成33年度)

第3章 基本施策

3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して

(9) ものづくり産業の振興と地域ブランドの形成

【基本施策の展開方向】

食品加工業、健康食品製造業、琉球泡盛製造業、金属加工業、一般機械製造業、工芸品製造業等のものづくり産業が、県民のニーズに応えることができる地域産業としての地位を確立するとともに、成長のエンジンとして本県経済振興の一翼を担う移出型産業として成長できるよう、製品開発からブランド構築に至る総合的かつ戦略的な支援に取り組みます。

・平成29年度当初事業費:105,301千円
(うち国費 78,075千円)

・事業期間:平成27年度～29年度

No.143 琉球泡盛県外展開強化事業

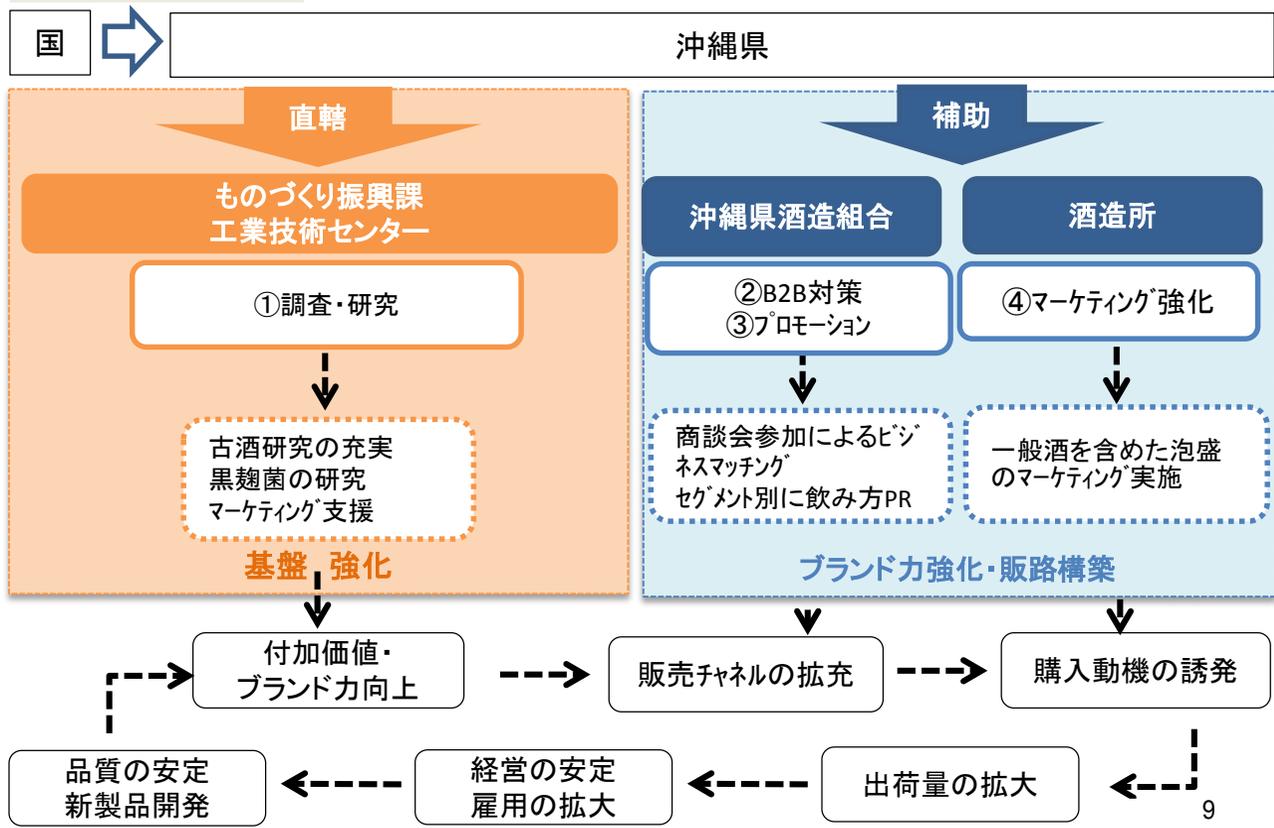
事業目的

泡盛製造業を県経済振興に寄与する移出型産業として成長させることを目的として、泡盛業界の成長戦略を支援するため、多角的な取り組みを行い、県外展開を強化する。

事業内容

- ① 泡盛調査研究事業(直轄・委託)
泡盛の仕上がりや熟成、黒麹菌に関する研究を行い、業界の課題である古酒の付加価値向上に資するとともに、一般酒を含めた特徴ある泡盛を展開する酒造所のマーケティング支援を行うことで泡盛の新しい価値創造を図る。
- ② 県外販路拡大事業(補助)(補助率9/10)
販売チャネル拡充のため、酒類流通事業者が主催する商談会の出展費用等について補助する。
- ③ セグメント別プロモーション事業(補助)(補助率9/10)
類似酒類との差別化を図るため、富裕層・中高年・女性・若年層、観光客等のセグメント別に泡盛の特性を訴求し、認知度及び体験度の向上を図る。
- ④ マーケティング強化事業(補助)(補助率9/10)
一般酒を含めた泡盛のマーケティングにかかる経費について補助する。

事業イメージ



琉球泡盛県外展開強化事業 (沖縄県酒造組合委託事業)

- 事業費： 平成27年度 99百万円
平成28年度 60百万円
平成29年度 53百万円

○事業内容

(平成28年度)

沖縄県を代表する特産品である琉球泡盛の普及啓発及び需要開拓に関する事業を実施するとともに、取引機会創出のための商談等を併せて行い、琉球泡盛の県外出荷の拡大を図ることを目的とする。

- ・古酒の県外強化プロモーション(オピニオンリーダー、情報発信媒体社等を対象としたPR)
- ・琉球泡盛の県外強化プロモーション(沖縄県酒造組合のアンテナショップの試験運用、スーパーマーケットとのタイアップ事業など)
- ・WEB・SNSとの連動
- ・試飲・販売イベントの実施
- ・琉球泡盛の県内観光客強化プロモーション(県外の食品加工業者及び国外からの流通事業者等が集まるイベント内でのPR)
- ・沖縄を代表するTHE泡盛カクテルの開発(58KACHA-SEAのPRなど)

(平成29年度)

- ・THE泡盛カクテル「58KACHA-SEA」(県内・県外でのPR、RTD(低アルコール飲料)の研究開発など)
- ・女性や若者を主要ターゲットとした、琉球泡盛普及啓発に伴うイベントの開催
- ・琉球泡盛の普及啓発の体験施策として酒蔵ツーリズムの開催
- ・観光客への試飲販売イベントの開催
- ・琉球泡盛の営業促進活動のための普及啓発ツールの制作

沖縄国際ハブクラスターでは、沖縄国税事務所や沖縄県等関係機関が参画する「泡盛海外展開支援連絡会議」を設置。同会議では、忠孝酒造(株)、瑞泉酒造(株)、(株)久米島の久米仙、(株)Blueship沖縄が実施している市場ニーズにマッチした商品開発・ブランディングによる海外展開の取り組みについて支援を実施。海外展開に取り組むリーディング企業を創出させ、泡盛業界・県内製造業の活性化に繋げていく。

平成28年度活動実績

- 泡盛海外展開支援連絡会議を設置（平成28年10月28日）
 - ◇ 忠孝酒造(株)、瑞泉酒造(株)、(株)久米島の久米仙、(株)Blueship沖縄が実施している市場ニーズにマッチした商品開発・ブランディングによる海外展開の取り組みについて支援を実施。
 - 欧米を拠点に活躍するブランディングチームを招聘し、海外におけるブランディング手法等について意見交換を実施（平成29年1月）（「万国津梁人材育成事業」活用）
 - ◇ ブランディングチームは、ウォッカやテキーラといった有名酒類をはじめ様々な製品のブランド化を世界中で手掛け、活躍している。
 - アイスランドへ琉球泡盛のテストマーケティングを実施。物流ルートや酒類市場の現状等について確認を行う。（平成29年3月）
-
- 今後、琉球泡盛の欧米展開に向けたブランディング戦略を構築。マーケティングを実施しつつ、欧米市場ニーズにマッチした市場開拓を推進

《泡盛海外展開チーム》

- 忠孝酒造(株)
- 瑞泉酒造(株)
- (株)久米島の久米仙
- (株)Blue ship沖縄

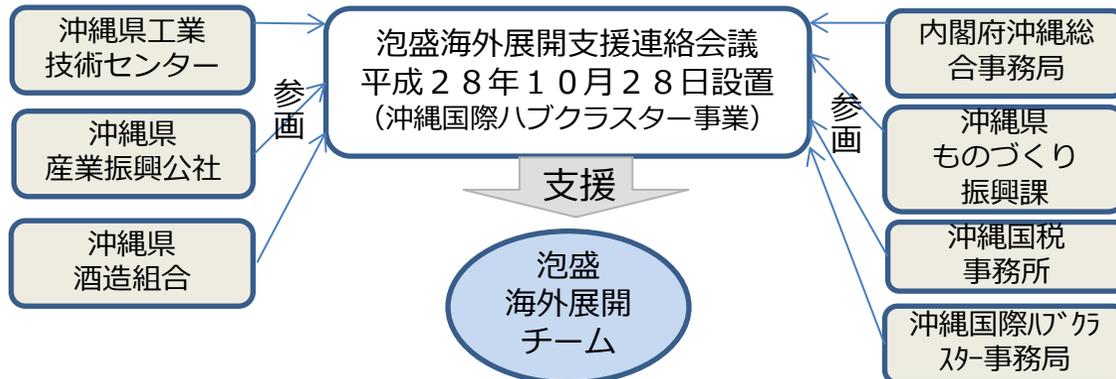
泡盛のテイスティング
(忠孝酒造(株))



泡盛の製造工程体験
(株)久米島の久米仙



<支援体制図>

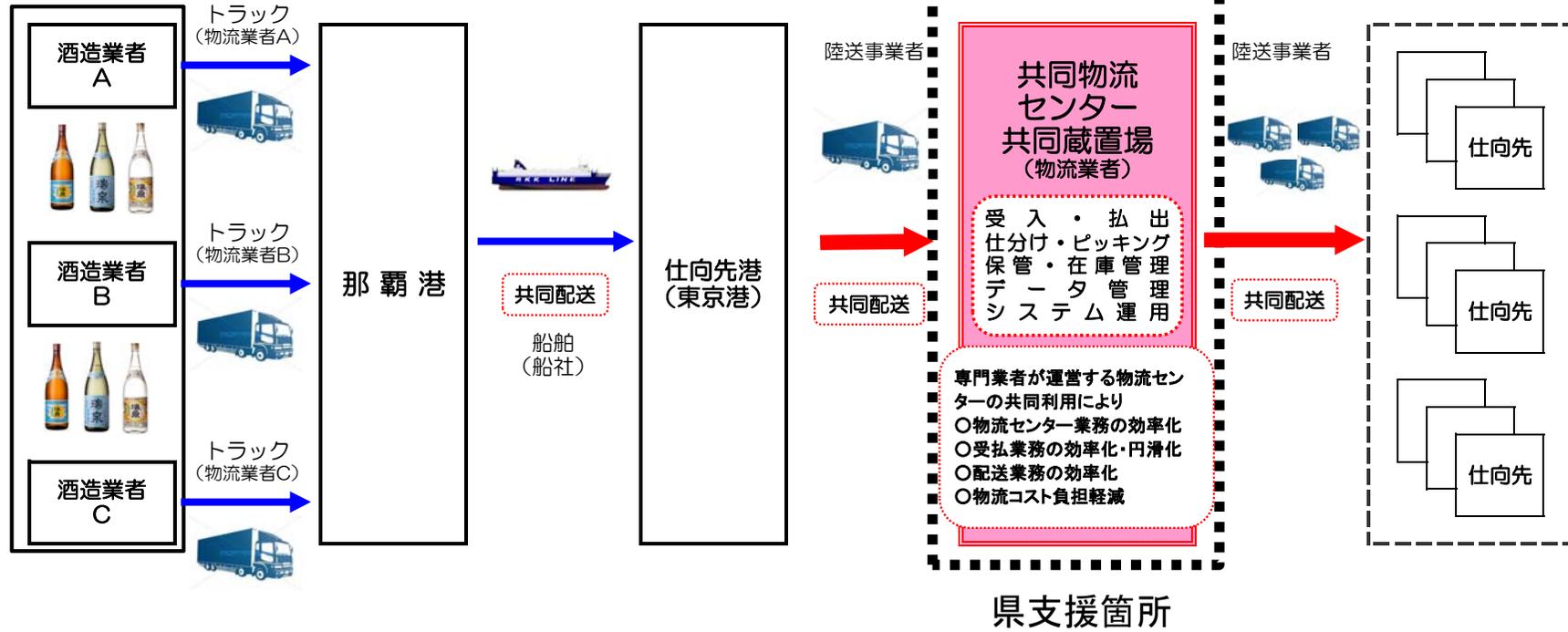


～琉球泡盛の欧米展開に関する4社記者会見～

前列左から、瑞泉酒造(株) 佐久本社長、(株)久米島の久米仙 島袋社長、忠孝酒造(株) 大城社長、(株)Blueship沖縄 慶松社長、ブランディングチーム



物流高度化推進事業



事業費の流れ

